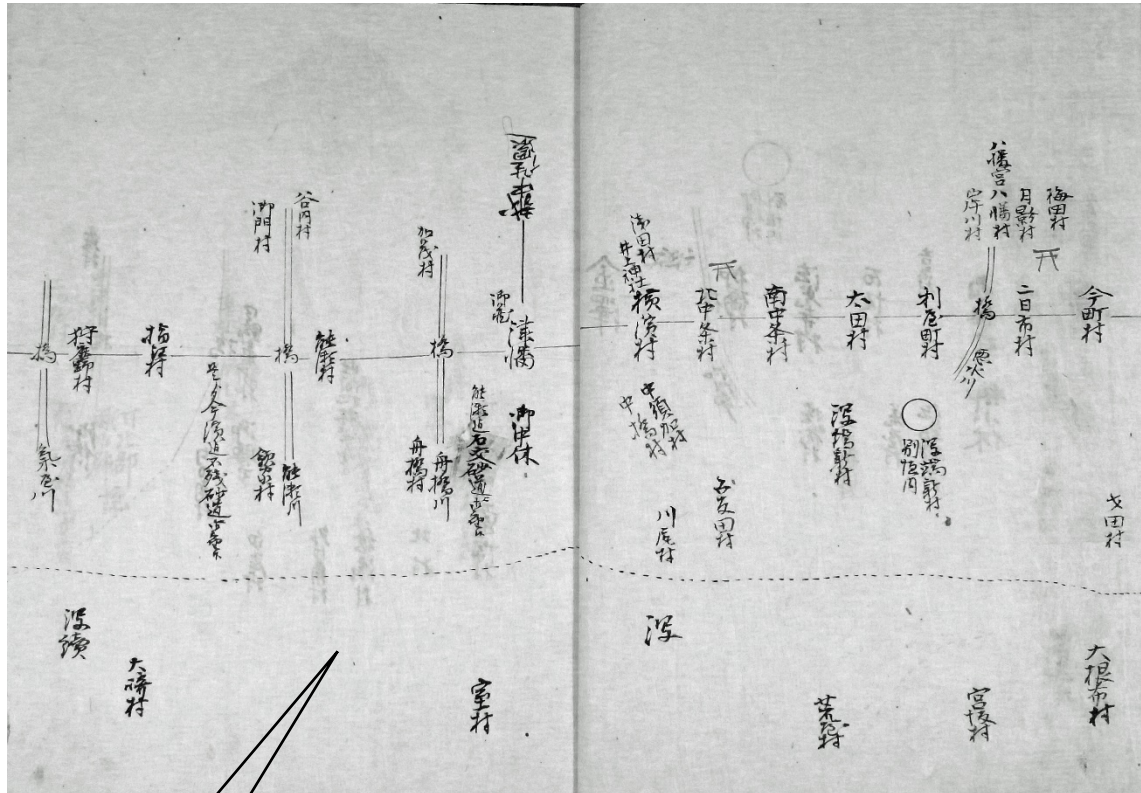


風景図が語る加能沿岸と多様な「道」



これも
絵図

場所： 石川県立図書館 閲覧室

会期： 令和2年10月31日(土)～12月27日(日)

石川県立図書館

開 催 に あ た っ て

石川県立図書館では、『石川県史資料』を近世篇19冊、近代篇1冊を刊行してきました。「本県の歴史研究に重要な内容をもつ、今日まで未刊、あるいは散逸のおそれのある史資料等を刊行する」という目的で、最近数年は「北国海道絵図」「能登の風景図」「加越能の風景図」をシリーズで公表しました。

これらの絵図類を1点ずつみても興味深いものですが、比較しながら読み解いてゆくと、今まで気づかない事実が含まれていることもあり、新たな発見もあります。刊本の説明よりもより深く読み解くには、どうしたらよいか。実物を展示しながら、解き明かしてみたいと思います。

令和2年10月

○表紙の絵図をよんでみる

これは絵図なのかと、思うほど簡略な図です。しかし、これは嘉永6年4月(1853)年に藩主前田斉泰が能登国内を一周したときに仕立てられたもので、巡見の道順を描いた絵図です。絵図作成の目的が、どこをどのように通ってゆくかを主題にしたので、周辺の情報を簡略にしています。

したがって、藩主が通行予定の村を主体にそこを通る道筋を真ん中に描き、通行に差し支える川に橋が架設されているかどうかも書き上げています。通行しない村や沿道風景は極力簡略化し、河北潟は単に「潟」と示され、対岸の村々(大根布村～大崎村)は、申し訳程度にしか記載されません。

しかし、道路状況を「石交砂道」あるいは「砂道」と記載があり、普通の旅行記・旅日記よりも詳細な情報がうかがえます。

○ 「北国海道絵図」

肩慣らしが済んだところで、「北国海道絵図」を読んでみましょう。

これは、江戸を起点に中山道から北国海道に入ってゆきます。板橋宿から街道沿いに金沢城下までを描いています。途中までの描写方を、江戸幕府のまとめた「木曾街道絵図」(県立図書館に復刻本架蔵)と比較してみましょう。「木曾街道絵図」のほうが、街道周辺の情報を多く描いていることに気づきます。それらが必要だから描かれたのです。

一方「北国海道絵図」では、より簡略な描写となります。しかし、単調な風景もよく比較すると、荒れ野原の信州軽井沢あたりと異なり、金沢城下に近い森本村は、かなり町場の様子が長く続くことに気づきます。また、街道の周囲に生える松林や、遠景に興味をそそられるのは、特徴的な森林や寺社等の名所を知らせる意味があったのでしょう。現代でいえば、ランドマークにあたるものが、金沢城下に近いことを知らせてくれるからです。

○ 「能登外浦風景図巻」

現代能登の塩田風景は、輪島から珠洲あたりが著名です、意外に外浦の西岸に大きな塩田が見られたのが近世の特徴です。

特に百浦(現志賀町内)の塩田風景は、塩田が二段・三段に構築されていた様子があり、その道具を詳細に描いた作者の眼力に庶民の視線を感じます。よく見れば、塩田は石垣で囲われています。これを築造するにはかなりの労力と資金が必要だったでしょう。承知のように塩田の周囲には大きな川がありません。塩分濃度が下がらない地域の海水を濃縮するからです。その条件を見極めることができなければ、どこでも塩田を作ることはできません。

また、「能登外浦風景図巻」の内容を補完してくれる史料は、「能登名跡図巻」です。特に滝の風景描写は往時を彷彿とさせます。

○「加越能海辺筋村建等分間絵図」

これは制作の意図を探るには、難物の絵図です。一般的に海岸からの深浅を描いた絵図は珍しいものです。江戸を防備するために、幕末になると現東京湾や相模湾で対岸までの距離や深浅等を書き上げた事例もありますが、これは成立年代が不明。幕末と推定。

但し、「能州御巡見御道筋手絵図」(岡部家文書)と「加越能海辺筋村建等分間絵図」には、描き方と内容に相似と関連が見えます。その理由は、いずれも冒頭に凡例図を配置し、その記号が共通する。さらに、奥能登・甲村から能登島の祖母ヶ浦村へ「加越能海辺筋村建等分間絵図」では、海底深浅測地場所が移動しており、更に対岸の鵜浦村へと続く形で描かれています。この経路は、「能州御巡見御道筋手絵図」に含まれる甲村から能登島の祖母ヶ浦村への渡海し、野崎村から鵜浦村へ渡る予定コースと同一です。しかも、「加越能海辺筋村建等分間絵図」には、甲村から祖母ヶ浦村へ渡海ルートらしき点線がわざわざ示されている。これらから推測すると、同一時期とは限らないものの、近い時期に両者が成立したことを示唆します。

○補 足

絵図を読み解くことは、多様な可能性をもたらします。ここまで
掲示した絵図類は、『石川県史資料』を近世篇で見ることができます。
お手元で自分なりの解釈を試みてください。

また、表紙に掲げた絵図は、今後の近世篇シリーズで取り上げたい
と思います。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

石川県立図書館第 256 回企画展示

風景図が語る加能沿岸と多様な「道」

編集・発行 石川県立図書館 金沢市本多町 3-2-15

発行日 令和 2 年 10 月 30 日

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆